

『カケルとナオト』

単行本（ソフトカバー） 302ページ

出版社 ブイツーソリューション

著者 ヤマザキ覚

発売日 2016/4/20

定価 本体 1500 円＋税

【あらすじ】

目の怪我を負った大蔵^{かけろ}颯と、バイク事故で車椅子になった千葉直斗は、同じボクシングジムに所属するボクサーだった。ボクシングを引退し、リングを降りた二人は「リング外の戦い」と称して、再歩行に懸ける第二の人生を歩み出す。颯はトレーナーを目指し直斗を歩かせる目標を掲げ、直斗は再びリングに戻ることを夢見てトレーニングを始めるが、踏み出す一歩は簡単ではなかった。

【本が出来上がるまで】

明日、脊髄損傷になってしまったら、あなたは諦めますか？

日本国内では毎年、約五千人もの人たちが脊髄損傷になっています。「一生車椅子」「100%回復はしない」と医師から宣告されても、当事者は「また歩きたい。元の体に戻りたい」と強く願いますが、世の中は、願いに対して批判的です。中には「元には戻らない」と、口にする人もいます。『諦めろ』と言われていたようで、憤りを感じる時もあります。『カケルとナオト』は実在する脊髄損傷者トレーニング・ジムのモデルにして作りました。フィクションですが、実際にあった話も取り入れています。

誰に何を言われようが、『絶対に歩く』という強い信念を持ち、限界を作らずに立ち向かうクライアントと、回復の可能性を信じて、自分の手で歩かせたいと、試行錯誤を繰り返すトレーナー。二つの心が重なりあうところには、奇跡が起こります。

ジムに通う当事者でもある私は、この奇跡をいつか小説にしたいと思っていました。一歩足を前に出すことだけに、全力を尽くす世界がある。辛い現実から前を向き、主人公が夢に向かって挑戦する物語です。脊髄損傷を知らない方々にもわかりやすく書き上げました。読んでくださったかたが、明日も頑張ろうという気持ちにさせられる一冊になれば嬉しいです。本書は電子版書籍(Amazon)も発売しています。

・ヤマザキ覚ホームページ <http://yamazakikaku.com>

・『KAKERU & NAOTO』PV <https://www.youtube.com/watch?v=slBswEbH1WE>